

第4回要介護認定調査検討会	資料2-2
H20. 5. 2	

調査項目の選定について（1）

樹形図を作成する際、前回の検討会で出された意見を踏まえ、以下の条件から削減する調査項目の候補とする。

○選定条件1

要介護（要支援）区分毎の回答構成に差があるかの確認を行い、差のない設問については、要介護（要支援）区分の判定に有効でないことから除外対象とする。

○選定条件2

要介護（要支援）区分と回答に付された順序に関係がないか検証し、群間で差がない設問については、要介護（要支援）区分の判定に有効でないことから除外対象とする。

○選定条件3

回答（選択肢）別のケア時間に差があるかを確認し、差のない設問については、要介護（要支援）区分の判定に有効でないことから除外対象とする。

○選定条件4

回答に著しい偏りがある設問については、要介護（要支援）区分の判定に有効でないことから除外対象とする。

○選定条件5

現場で問題点が指摘されている項目を除外対象とする。

削減候補

1. 拘縮(肘関節)
2. 拘縮(足関節)
3. じょくそう
4. 皮膚疾患
5. 飲水
6. つめ切り
7. 生年月日を言う
8. 自分の名前を言う
9. 場所の理解
10. 被害的
11. 作話
12. 幻視幻聴
13. 暴言暴行
14. 大声を出す
15. 常時の徘徊
16. 落ち着きなし
17. 外出して戻れない
18. 一人で出たがる
19. 収集癖
20. 火の不始末
21. 物や衣類を壊す
22. 不潔行為
23. 異食行動
24. 環境等の変化

モデル一次データ(32,713件) 項目別回答構成比

設問	選択肢	割合	9割以上の 偏り	設問	選択肢	割合	9割以上の 偏り	設問	選択肢	割合	9割以上の 偏り
1-1-1 麻痺の有無	1 ない	85%	○	5-1-エ つめ切り	1 できる	34%	○	7-セ 収集癖	1 ない	98%	×
	2 ある	15%			2 一部介助	21%			2 とときどきある	1%	
1-1-2 麻痺(左-上肢)	1 ない	88%	○		3 全介助	44%			3 ある	2%	
	2 ある	12%		5-2-ア 上衣の着脱	1 できる	57%	○	7-ソ 火の不始末	1 ない	93%	×
1-1-3 麻痺(右-上肢)	1 ない	88%	○		2 見守り等	8%			2 とときどきある	5%	
	2 ある	12%			3 一部介助	27%			3 ある	2%	
1-1-4 麻痺(左-下肢)	1 ない	20%	○		4 全介助	8%		7-タ 物や衣類を壊す	1 ない	99%	×
	2 ある	80%		5-2-イ ズボン等の着脱	1 できる	56%	○		2 とときどきある	0%	
1-1-5 麻痺(右-下肢)	1 ない	20%	○		2 見守り等	7%			3 ある	0%	
	2 ある	80%			3 一部介助	24%		7-チ 不潔行為	1 ない	99%	×
1-1-6 麻痺(その他)	1 ない	76%	○		4 全介助	12%			2 とときどきある	1%	
	2 ある	24%		5-3 薬の内服	1 できる	39%	○		3 ある	1%	
1-2-1 拘縮の有無	1 ない	53%	○		2 一部介助	51%		7-ツ 異食行動	1 ない	99%	×
	2 ある	47%			3 全介助	9%			2 とときどきある	0%	
1-2-2 拘縮(肩関節)	1 ない	78%	○	5-4 金銭の管理	1 できる	42%	○		3 ある	0%	
	2 ある	22%			2 一部介助	32%		7-テ ひどい物忘れ	1 ない	59%	○
1-2-3 拘縮(肘関節)	1 ない	93%	×		3 全介助	25%			2 とときどきある	10%	
	2 ある	7%		5-5 電話利用	1 できる	40%	○		3 ある	30%	
1-2-4 拘縮(股関節)	1 ない	89%	○		2 一部介助	38%		8-1 点滴の管理	1 ない	96%	×
	2 ある	11%			5-6 日常意思決定	3 全介助	22%			2 ある	4%
1-2-5 拘縮(膝関節)	1 ない	63%	○	1 できる		44%	○	8-2 中心静脈栄養	1 ない	100%	×
	2 ある	37%		2 特別な場合を除いてできる		35%			2 ある	0%	
1-2-6 拘縮(足関節)	1 ない	92%	×	3 日常的に困難	19%		8-3 透析		1 ない	99%	×
	2 ある	8%		4 できない	3%			2 ある	1%		
1-2-7 拘縮(その他)	1 ない	88%	○	6-1 視力	1 普通	76%	○	8-4 ストーマの処置	1 ない	100%	×
	2 ある	12%			2 約1m離れた視力確認表の図が見える	18%			2 ある	0%	
2-1 寝返り	1 つかまらないうでできる	41%	○		3 目の前に置いた視力確認表の図が見える	4%			8-5 酸素療法	1 ない	98%
	2 何かにつかまればできる	51%			4 ほとんど見えない	1%		2 ある		2%	
	3 できない	8%			5 見えているのか判断不能	1%		8-6 レスビレーター	1 ない	100%	×
2-2 起き上がり	1 つかまらないうでできる	11%	○	6-2 聴力	1 普通	55%	○		2 ある	0%	
	2 何かにつかまればできる	76%			2 普通の声やうと聞き取れる	31%		8-7 気管切開の処置	1 ない	100%	×
	3 できない	14%			3 かなり大きな声なら何とか聞き取れる	13%			2 ある	0%	
2-3 両足での座位	1 できる	44%	○		4 ほとんど聞えない	1%		8-8 疼痛の看護	1 ない	99%	×
	2 自分の手で支えればできる	34%			5 聞えているのか判断不能	0%			2 ある	1%	
	3 支えてもらえればできる	20%		6-3 意思の伝達	1 調査対象者が意思を他者に伝達できる	78%	○		8-9 経管栄養	1 ない	98%
	4 できない	2%			2 とときどき伝達できる	18%		2 ある		2%	
2-4 両足での立位	1 支えなしでできる	50%	○		3 ほとんど伝達できない	3%		8-11 モニター測定	1 ない	100%	×
	2 何か支えがあればできる	38%			4 できない	1%			2 ある	0%	
	3 できない	11%		6-4 指示への反応	1 介護者の指示が通じる	75%	○		8-12 じょくそうの処置	1 ない	99%
2-5 歩行	1 つかまらないうでできる	29%	○		2 介護者の指示がときどき通じる	23%		2 ある		1%	
	2 何かにつかまればできる	53%			3 介護者の指示が通じない	2%		8-13 カテーテル	1 ない	98%	×
	3 できない	18%		6-5-ア 毎日の日課を理解	1 できる	72%	○		2 ある	2%	
2-6 移乗	1 できる	69%	○		2 できない	28%		9-1 寝たきり度	1 自立	1%	
	2 見守り等	14%		6-5-イ 生年月日を言う	1 できる	90%	×		2 J1	5%	
	3 一部介助	9%			2 できない	10%			3 J2	24%	
	4 全介助	8%		6-5-ウ 短期記憶	1 できる	69%	○		4 A1	25%	
2-7 移動	1 できる	61%	○		2 できない	31%			5 A2	23%	
	2 見守り等	18%		6-5-エ 自分の名前を言う	1 できる	97%	×		6 B1	8%	
	3 一部介助	8%			2 できない	3%			7 B2	9%	
	4 全介助	13%		6-5-オ 今の季節を理解	1 できる	81%	○		8 C1	2%	
3-1 立ち上がり	1 つかまらないうでできる	5%	○		2 できない	19%			9 C2	4%	
	2 何かにつかまればできる	81%		6-5-カ 場所の理解	1 できる	90%	×	9-2 認知度	1 自立	29%	
	3 できない	14%			2 できない	10%			2 I	26%	
3-2 片足での立位	1 支えなしでできる	12%	○	7-ア 被害的	1 ない	92%	×		3 II a	11%	
	2 何か支えがあればできる	64%			2 とときどきある	3%			4 II b	18%	
	3 できない	23%			3 ある	5%			5 III a	11%	
3-3 洗身	1 できる	34%	○	7-イ 作話	1 ない	96%	×		6 III b	3%	
	2 一部介助	44%			2 とときどきある	1%			7 IV	2%	
	3 全介助	19%			3 ある	2%			8 M	0%	
	4 行っていない	3%		7-ウ 幻視幻聴	1 ない	93%	×		10-1 日中の生活	1 よく動いている	8%
4-1-ア じょくそう	1 ない	97%	×		2 とときどきある	3%		2 座っていることが多い		51%	
	2 ある	3%			7-エ 感情が不安定	3 ある	4%			3 横になっていることが多い	41%
	4-1-イ 皮膚疾患	1 ない	68%	○		1 ない	81%	○	10-2 外出頻度	1 週1回以上	59%
2 ある		32%		2 とときどきある		6%		2 月1回以上		20%	
4-2 嚥下		1 できる	82%	○	3 ある	13%		3 月1回未満		21%	
	2 見守り等	16%		7-オ 昼夜逆転	1 ない	85%	○	10-3 環境等の変化	1 ない	93%	×
	3 できない	2%			2 とときどきある	4%			2 ある	7%	
4-3 食事摂取	1 できる	81%	○		3 ある	11%			11-3-16 話がまとま	1 ない	68%
	2 見守り等	8%		7-カ 暴言暴行	1 ない	91%	×	2 まれにある		8%	
	3 一部介助	7%			2 とときどきある	3%		3 とときどきある		10%	
	4 全介助	4%			3 ある	6%		4 よくある		14%	
4-4 飲水	1 できる	70%	○	7-キ 同じ話をする	1 ない	78%	○	12-6 買い物	1 できる	41%	○
	2 見守り等	19%			2 とときどきある	4%			2 見守り	10%	
	3 一部介助	7%			3 ある	19%			3 一部介助	20%	
	4 全介助	4%		7-ク 大声を出す	1 ない	91%	×		4 全介助	29%	
4-5 排泄	1 できる	57%	○		2 とときどきある	3%		13-1 簡単な調理	1 できる	31%	○
	2 見守り等	7%			3 ある	6%			2 見守り	6%	
	3 一部介助	15%		7-ケ 介護に抵抗	1 ない	86%	○		3 一部介助	20%	
	4 全介助	20%			2 とときどきある	4%			4 全介助	43%	
4-6 排便	1 できる	59%	○		3 ある	10%		14-9 自分勝手に行動	1 ない	72%	○
	2 見守り等	7%		7-コ 常時の徘徊	1 ない	96%	×		2 まれにある	7%	
	3 一部介助	12%			2 とときどきある	1%			3 とときどきある	8%	
	4 全介助	21%			3 ある	3%			4 よくある	13%	
5-1-ア 口腔清潔	1 できる	69%	○	7-ク 落ち着きなし	1 ない	95%	×	14-25 意味もなく独	1 ない	86%	○
	2 一部介助	23%			2 とときどきある	1%			2 まれにある	3%	
	3 全介助	8%			3 ある	3%			3 とときどきある	4%	
5-1-イ 洗顔	1 できる	70%	○	7-シ 外出して戻れない	1 ない	98%	×		4 よくある	7%	
	2 一部介助	21%			2 とときどきある	1%		14-26 集団への参	1 ない	65%	○
	3 全介助	9%			3 ある	1%			2 まれにある	6%	
5-1-ウ 整髪	1 できる	75%	○	7-ス 一人で出たがる	1 ない	97%	×		3 とときどきある	7%	
	2 一部介助	13%			2 とときどきある	1%			4 よくある	22%	
	3 全介助	12%			3 ある	2%					

調査項目の選定について(2)

設問		①X検定	②KW検定	③分散分析	④ 偏りがない(回答傾向 が90%未満)	⑤現場から問 題点が指摘さ れている項目
1-1-1	麻痺の有無					
1-1-2	麻痺(左-上肢)					
1-1-3	麻痺(右-上肢)					
1-1-4	麻痺(左-下肢)					
1-1-5	麻痺(右-下肢)					
1-1-6	麻痺(その他)					
1-2-1	拘縮の有無					
1-2-2	拘縮(肩関節)					
1-2-3	拘縮(肘関節)				×	
1-2-4	拘縮(股関節)					
1-2-5	拘縮(膝関節)					
1-2-6	拘縮(足関節)				×	
1-2-7	拘縮(その他)					
2-1	寝返り					
2-2	起き上がり					
2-3	両足での座位					
2-4	両足での立位					
2-5	歩行					
2-6	移乗					
2-7	移動					
3-1	立ち上がり					
3-2	片足での立位					
3-3	洗身					
4-1-ア	じょくそう				×	
4-1-イ	皮膚疾患					×
4-2	嚥下					
4-3	食事摂取					
4-4	飲水					×
4-5	排尿					
4-6	排便					
5-1-ア	口腔清潔					
5-1-イ	洗顔					
5-1-ウ	整髪					
5-1-エ	つめ切り					×
5-2-ア	上衣の着脱					
5-2-イ	ズボン等の着脱					
5-3	薬の内服					
5-4	金銭の管理					
5-5	電話利用					
5-6	日常意思決定					
6-1	視力					
6-2	聴力					
6-3	意思の伝達					
6-4	指示への反応					
6-5-ア	毎日の日課を理解					
6-5-イ	生年月日を言う				×	

設問		① X 検定	② KW検定	③分散分析	④ 偏りがない(回答傾向 が90%未満)	⑤現場から問 題点が指摘さ れている項目
6-5-ウ	短期記憶					
6-5-エ	自分の名前を言う				×	
6-5-オ	今の季節を理解					
6-5-カ	場所の理解				×	
7-ア	被害的				×	
7-イ	作話			×	×	
7-ウ	幻視幻聴				×	
7-エ	感情が不安定					
7-オ	昼夜逆転					
7-カ	暴言暴行			×	×	
7-キ	同じ話をする					
7-ク	大声を出す				×	
7-ケ	介護に抵抗					
7-コ	常時の徘徊			×	×	
7-サ	落ち着きなし			×	×	
7-シ	外出して戻れない			×	×	
7-ス	一人で出たがる				×	
7-セ	収集癖				×	
7-ソ	火の不始末				×	×
7-タ	物や衣類を壊す		×		×	
7-チ	不潔行為				×	
7-ツ	異食行動				×	
7-テ	ひどい物忘れ					
8-1	点滴の管理				×	
8-2	中心静脈栄養	×	×		×	
8-3	透析	×	×		×	
8-4	ストーマの処置	×	×		×	
8-5	酸素療法	×	×		×	
8-6	レスピレーター	×	×		×	
8-7	気管切開の処置	×	×		×	
8-8	疼痛の看護	×	×		×	
8-9	経管栄養				×	
8-11	モニター測定	×	×		×	
8-12	じょくそうの処置				×	
8-13	カテーテル				×	
9-1	寝たきり度					
9-2	認知度					
10-1	日中の生活					
10-2	外出頻度					
10-3	環境等の変化	×	×	×	×	
11-3-16	話がまとまらず、会話にならない					
12-6	買い物					
13-1	簡単な調理					
14-9	自分勝手に行動する					
14-25	意味もなく独り言や独り笑いをする					
14-26	集団への参加ができない					

樹形図の使用項目数を変更した場合の決定係数の比較

【モデル作成条件】

- ・樹形図作成項目の元：現在の要介護認定項目（1群～7群）+3項目（10群）+追加項目6項目（モデル一次調査）
- ・樹形図は9本作成：大分類0（対象者に直接関わらない業務）の推計値を除く
- ・最終分岐の最小人数を40人に設定（現在の一次判定と同様）
- ・中間評価項目は使用しない

0項目削除	24項目削除
削除なし	1 拘縮（肘関節） 2 拘縮（足関節） 3 じょくそう 4 皮膚疾患 5 飲水 6 つめ切り 7 生年月日をいう 8 自分の名前をいう 9 場所の理解 10 被害的 11 作話 12 幻視幻聴 13 暴言暴行 14 大声をだす 15 常時の徘徊 16 落ち着きなし 17 外出して戻れない 18 一人で出たがる 19 収集癖 20 火の不始末 21 物や衣類を壊す 22 不潔行為 23 異食行動 24 環境等の変化
決定係数=0. 478	決定係数=0. 479

※0項目削除の場合も、樹形図に出現しない項目は存在する